



社会医療法人 河北医療財団

人生100年時代の健康長寿を応援

「あいフレイル予防センター」新規開設のお知らせ

社会医療法人 河北医療財団（所在地：東京都杉並区、理事長 河北 博文）は、4月より「あいフレイル予防センター（多摩市関戸）」を新規開設いたしました。

長引くコロナ禍の今こそ！

高齢者の心身の虚弱を予防する無料の相談窓口を医療機関がオープン

多摩ニュータウンにて40年にわたり高齢者医療・介護事業を展開してきた河北医療財団 多摩事業部「あいセーフティネット」では、2021年4月に「あいフレイル予防センター」を開設しました。

介護予防の中でも最近特に注目が高まっている「フレイル予防」の重要性を地域住民に伝える情報センターです。当財団の職員である看護師・理学療法士による無料の相談窓口の他、パンフレットやポスターによる情報提供、今後は体操教室や啓発講座等のイベント開催や、地域や各種団体への講師派遣も予定しています。このような環境下でこそ地域の健康を守る重要性を感じ、微力ではありますが社会貢献の一助になればと思います。



※ あいセーフティネット® 『あいセーフティネット』について → <https://kawakita.or.jp/aisafetynet/>

【概要】

名称：あいフレイル予防センター

住所：多摩市関戸1-2-11 スマイラス聖蹟桜ヶ丘1F

TEL：070-1277-8256（相談員直通）

時間：9：00-16：30（土日祝日除く・不定休あり）

※相談員在席時間はホームページにて確認

ホームページ：



<https://kawakita.or.jp/aisafetynet/frailty/>



聖蹟桜ヶ丘駅から徒歩2分。サービス付き高齢者向け住宅の1F、当財団が運営するデイサービスに隣接し、ガラス張りで立ち寄りやすい雰囲気。

《リリースに関するお問い合わせ》

社会医療法人 河北医療財団 広報課 山口 美紀

TEL：03-3339-5724 E-mail：press@kawakita.or.jp